自分を守る！	▶初動体制の構築	社員等に対する教育・啓発・訓練を行う

003 中学生が主体的に推進する防災･減災学習を通じた地域との面的な連携

取組主体		
岡山県岡山市立操南中学校		
教職員数	想定災害	実施地域
68 人	地震・津波・内水氾濫	岡山県

中学生が地域自主防災会、防災士、公民館、行政などの関係者と共に防災活動・防災学習に取り組めるようにすることで、地域全体の防災力の向上を図っている。

1 取組の概要

・「心豊かな自立した生徒を育てる」という目標と「よりそい・つながり・共に歩む」という合い言葉を掲げて防災・減災学習に取り組んでいる岡山県岡山市立操南中学校は、全校生徒の防災・減災意識を高めるため、地域自主防災会、防災士、公民館、行政などの地域の関係者と連携・協働をしながら、地域学校協働活動「操南中＆防災チャレンジ with “よりそい愛”」を実施している。

・毎年秋に実施される神戸防災研修の事前・事後学習を活用し、全校生徒の防災・減災意識を高めている。まず、１年生を対象に、阪神・淡路大震災、東日本大震災、西日本豪雨など国内で発生した大規模災害について、被災経験者や現地でのボランティア活動に携わった方を講師に招いて講話を聞き、アーカイブ映像によるバーチャル体験をするなどの多角的な学習を実施している。また、地域の災害リスクに関する知識を深めるため、有志の生徒が公民館の防災講座に受講者として参加する取組も進めている。こうした学習を経た１年生の一部は、習得した知識を、中学生講師という立場で他学年や全校生徒へ伝える活動も行い、校内全体で防災意識を醸成している。

・また、毎年冬に実施される避難訓練（防災訓練）は、南海トラフ地震における揺れ、液状化や津波を想定し、全校生徒・教職員・地域の方々と実施している。この際、地域自主防災会や防災士、岡山市危機管理室、有識者の方々にもアドバイザーとして参加していただく「防災サミット」を開き、総合学習や有志活動などを振り返り、学びを行動につなげることへの決意を新たにしている。

・単発の取組として終わらせないためには学んだことの総括となる取組が重要と考え、昨年度初めて「防災キャンプ」を実施した。このキャンプは、中学生自身が学んだことを地域の大人や小学生たちに体験的に伝えるというチャレンジングなものとなった。今後も類似の地域防災行事に参加・出展するなど、実施方法を検討中である。

防災・減災学習の様子

2 取組のきっかけと想い

・同校のある地域は干拓地で多くの用水路を抱えるため、災害リスクが高い。地元町内会では早くから地域自主防災会を立ち上げ、避難訓練や防災講座に取り組んでいた。2021 年、本校学区の上藤崎町内会が内閣府「個別避難計画作成モデル事業」のもとで逃げ遅れゼロを目指す避難訓練を開始したことで、同校がこのモデル事業に協力・参加する機会を得た。これが、地域と学校、中学生と地域住民が「みんなで助かろう！」という想いで連携・協働を意識するきっかけとなった。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

「点」から「線」、そして「面」への発展

・当初は中学生が地域の防災講座に参加し、学んだことを発信する「点」の取組だったが、活動の位置付けや関連を「見える化」することで「線」となり、多様な関係機関との連携・協働を得て「面」へと発展させた。また、年間行事予定や教育課程への明確な位置付けも行い、「総合的な学習の時間」と「地域学校協働活動」として同校内で共有し、職員の異動やカリキュラム変更があっても継続できるよう努めている。

地域特性への配慮と学校経営計画の推進力

・同校は３つの小学校区を持ち、地域の温度差や特性に配慮しつつ、地域フェスを活用するなどして地域の防災・減災活動の推進に貢献している。学校経営計画で「よりそい・つながり・共に歩む」を明示し、2021 年に「操南中 SDGs 宣言」を採択したことが防災への取組の推進力となっている。

全大会（振り返りと共有）の様子

防災クイズ

防災かるた

4 取組の効果

生徒の防災意識の向上

・岡山市が岡山市立の小中学校と高校を対象に実施した令和５年度「教育に関する総合調査」によると、「地域防災」や「共助」の基盤を育む上で重要と思われる以下の項目について、同校の肯定的な回答率は、前年および岡山市の平均と比較しても高い結果となっている。

「私は、地域の行事に役割を持って参加している」（前年比 10.2%増、岡山市比 8.2 ポイント高）

「私は地域の人に進んで挨拶をしている」（前年比 2.8%増、岡山市比 4.7 ポイント高）

「私は、今住んでいる地域や、岡山市の歴史・自然に関心がある」（前年比 2.1%増、岡山市比 3.0 ポイント高）

教職員による意識の高まり

・生徒たちの活動について適切に指導・助言できるよう、教職員の研修、避難訓練リハーサル、危機管理マニュアルの見直しなどを行ったことで、教職員全体の防災対策への意識が高まっている。

周囲の声

・「地域と中学校が一緒に協力して、防災・減災の取組ができるのは素晴らしいことだ」（町内会）

・「このような防災・減災学習に生徒が主体的に取り組むこと、また、そのような環境を学校や地域が連携して提供していることが素晴らしい」（有識者）

担当者の声

・中学生が地域の方々と関わりを持つ機会をつくることが非常に重要だと感じています。地域フィールドワークや防災講座への積極的な参加は、「共に助かる」「みんなで助かる」という防災・減災のマインドを育んでいます。

・今後はリーダー生徒たちの育成を通じて「裾野を広げる」取組を模索しつつ、同校の学生たちが「年間１回以上、地域や民間団体が開催する防災・減災講座に参加する」「自分の小学校区または町内会が実施する避難訓練には参加をする」などの仕掛けづくりも検討していきたいと考えています。

問合せ先	動画	サイト URL
岡山県岡山市立操南中学校 電話番号：086-277-7281　FAX：086-277-9447 E-Mail：sonanc@city-okayama.ed.jp URL：https://sites.google.com/giga-city-okayama.jp/c-sonan/		